

# 育成モノづくり人材

Vol. 61

## 愛知県立刈谷工業高校

愛知県刈谷市はデンソーやアイシン精機などトヨタグループの主要企業が本社を構え、自動車関連を中心にモノづくり人材の需要は高い。愛知県立刈谷工業高校はモノづくりの競技大会やコンテストなどに積極的に参加し、生徒の技能向上を図っている。生徒の95%が就職し、就職率は大会前1カ月間に集中



加藤校長

ノづくり人材の需要は高い。愛知県立刈谷工業高校はモノづくりの競技大会やコンテストなどに積極的に参加し、生徒の技能向上を図っている。生徒の95%が就職し、就職率は大会前1カ月間に集中

【DATA】▷校長=加藤良和氏  
▷所在地=愛知県刈谷市▷学科=機械科、自動車科、電子科▷生徒総数=836人▷主要設備=旋盤、フライス盤、自動車用リフト、車検用検査システム▷主な進路=トヨタ自動車、デンソー、アイシン精機、豊田自動織機、ジェイテクト、名古屋トヨペット、中部電力、トーエネック、豊橋技術科学大学、中部大学など

自動車科の課題研究や自動車部の部活動として、三重県鈴鹿市での乾電池で走る車の競技会や愛知県豊橋市でのバッテリー自動車競技会に参加している

# 車の集積地、競技で腕磨く

100%を誇る。工業系高校の総合競技大会には旋盤や化学分析などの各競技に2、3年生中心に1人ずつ参加している。2016年度は機械製図部門で県大会優勝、電

訓練する成果を出せている。旋盤関連の技能も派遣してもらっている。地元企業のコンテストにも多く参加する。大会向けではなく、生徒の技能向上や技能士試験のための指導を受ける。自動車の部活動として、三重県鈴鹿市での乾電池で走る車の競技会や愛知県豊橋市でのバッテリー自動車競技会に参加している

寄贈され、授業や実習で活用している。加藤校長は「地域連携で地元の利を生かした教育ができていく」と強調する。また西尾信用金庫（愛知県西尾市）が16年度に始めたコンテスト

に参加。生徒が課題研究で開発した車いすのシステムを組むアイデア賞を受賞した。地元企業に生徒を派遣して技能取得する事業では16年度に7人を



熟練技能士から指導を受ける生徒ら

自動車の部品メーカーや販売店などに派遣、加工技術や自動車整備などの技能を磨いた。17年度は刈谷商工会議所に受け入れ可能な企業を紹介してもらい派遣先を増やす方針。

今後の教育については「理系人材は就職する人が増えて教員のなり手が減っている」（加藤校長）との不安がある。このため愛知県の一あいちSTEM教育力強化事業」で教員の技能を高めたり、外部の力を借りたりしながら自動車産業などの将来を支える人材の育成を図っている。

（名古屋・市川哲寛）  
（金曜日掲載）